

みやしろ

No. **112**
2019.11.1

議会だより



平成30年度一般会計決算 私たちの税金は どう活かされたか	2
国保の都道府県化を検証	6
幼児教育・保育の無償化	8
各議員の賛否	11
町政をただす 一般質問に12人が登壇 ..	12
町民の声・町民と議員との懇談会のお知らせ ..	26

収穫に長年の想いを重ね、
将来に夢を託す (和戸沖の山)



宮代町議会一般質問
録画QRコード



宮代町議会H.P
QRコード

私たちの税金は

どう活かされたか

決算特別委員会で検証

＜賛成9、反対3で可決＞

委員会では、一般会計・特別会計を5日間にわたり、各課別に質疑応答を行い、徹底検証しました。

9月定例議会

9月定例議会は、8月29日から9月26日までの29日間にわたって開かれました。

町長からは平成30年度一般会計決算の認定や条例改正、工事請負契約の締結など31件が提案され、審議の結果、すべて原案どおり認定、可決されました。

また、議員から提出された「高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書」と「宮代町民の歯と口腔の健康づくり推進条例（仮称）の制定を求める請願」は全会一致で可決・採択されました。

一般質問では、12人の議員が登壇し、町政をただしました。

総務・財政

主な使いみち

●ふるさと納税管理事業	3,475万円
●便利バスが走る事業	2,687万円
●庁舎等管理事業	5,872万円
●公共施設再編第2期計画事業	1億2,593万円
●戸籍住民基本台帳管理事業	1,201万円

問 乗車数9%の伸び率ではあるが、便利バスの通らない地域をどうするののか。

答 課題は、デマンド交通などでカバーしたいと考えている。

問 寄付人数、寄付金額減っている要因は。

答 ふるさと納税の競争があり、返礼品で激化している。返礼品を3割以下に抑える見直しが必要。県内の町村では寄付総額は2番である。

問 マイナンバーカードを利用し

便利バスの空白地域を今後どうする

たコンビニ交付が始まったが、マイナンバーカードの普及は進んでいるか。

答 平成30年度末5013人、14・76%。役場で写真を撮ること

で利便性をあげている。

問 役場、進修館の駐車場は何台駐車できるのか。どう確保しているか。

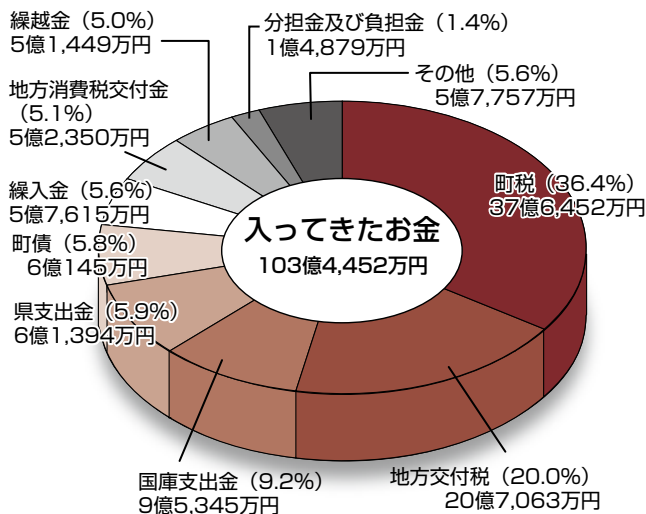
答 庁舎63台、進修館47台、社協8台、計118台。公共交通機関や徒歩での参加をお願いしている。

平成29年度にいただいた寄付分野および寄付金額

寄付分野	寄付金額
農のあるまちづくりに関する事業	1,319万円
子どもたちの未来に関する事業	3,677万円
市民活動支援に関する事業	81万円
宮代の桜を大きく育てていく事業	327万円
宮代の歴史文化を後世に伝える事業	147万円
観光や町のPRに関する事業	228万円
みやしろにぎわいプロジェクト	579万円
その他まちづくり全般	3,505万円
合計	9,866万円

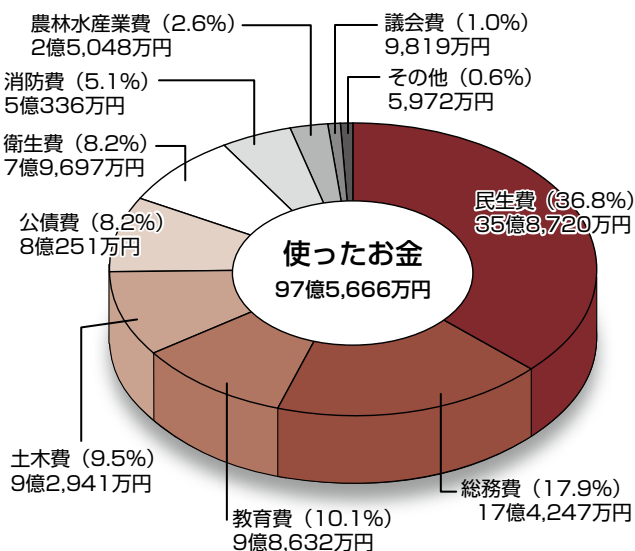
●歳入の内訳

103億4,452万円（前年度比4.9%減）

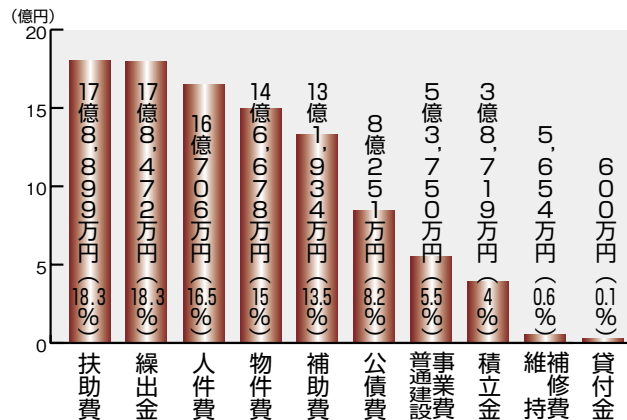


●歳出の内訳

97億5,666万円（前年度比5.8%減）



■歳出の性質別内訳



- 扶助費…社会保障制度の一環として児童、高齢者、障がい者、生活困窮者などに対して支援に要する経費。
- 繰出金…国保、介護、後期高齢者医療、公共下水道など特別会計に支出される経費。
- 物件費…消費的性質の経費の総称（賃金、旅費、需用費、役務費、備品購入費、報償費、委託料などの経費）

商工・建設

主な使いみち

●新しい村管理運営事業	6,765万円
●まちなか起業創業事業	245万円
●東武動物公園駅東口周辺事業	1億3,671万円
●商工業振興事業	1,580万円
●都市計画道路整備事業	1,640万円

問 都市計画道路整備の不用額が多いが、町道12号線用地買収はどのような状況か。

答 平成30年度末、取得面積に対する進捗率は、72・5％。7件が未買収。現在、軟弱地盤対策をしている。

問 道仏土地区画整理事業の業務はどうなっているか。

答 現在、清算業務を行っている。組合の解散は令和2年度中に総会を開催したく、準備している。

問 住宅・店舗リフォーム補助金

問 都市計画道路整備の不用額は17件だが、どのような改修、改築だったか。1件当たり何円か。

答 金額は、平均7万円。店舗2件と住宅15件。住宅は対象経費の5％の補助で、屋根、壁の塗装、台所、トイレなどのリフォームがあった。

問 新しい村で集荷、宅配などを始めたが、どのような状況か。

答 集荷は14人、273件で月平均22件。高齢者や子育て世代への宅配は183件、月平均15件となった。



地場産求めて 新しい村へ



来年は40周年 進修館

生活・保健

主な使いみち

●防犯活動事業	1,191万円
●進修館管理事業	3,105万円
●消防総務事業	5億336万円
●地域敬老会支援事業	940万円
●母子保健事業	3,017万円

問 防犯灯の新設は6か所だが、LED化は全体のどれくらいか。

答 防犯灯は、2601基となった。そのうち97・5％がLED化となった。

問 進修館の研修室や和室の利用が減っているが。

答 談話室の利用が周知され、移行している。

問 消防団第2分団詰所は完成したか。

答 建築面積45㎡、延床面積90㎡、敷地209・47㎡で、9月末で完成予定。

問 地域敬老会支援事業の成果と未実施地区のアンケートの評価は。

答 実施は67自治会、参加人数は1894人、開催した地区の対象者4割が参加している。開催できない地区の問題点解消のため、隣の自治会と共催での参加や、離れた自治会館等を借りる方法など働きかけをしている。

防犯灯のLED化はどれくらいになったか

反対です 討論

役場と進修館の駐車場確保を

丸藤栄一 議員

- 東武動物公園駅東口周辺整備は、財政上からも身の丈に合った街づくりにすること。
- 人口の減少を打開するため、高校卒業までの医療費と学校給食費の無料化を急ぐこと。
- 役場と進修館の駐車場をきちっと確保するように、具体的な対策を講じること。
- 「地域敬老会」に参加できない高齢者への配慮がされていないこと。
- 各公民館のエレベーターの設置と百間公民館の駐車場を確保すること。



会場狭しと皆で踊ろう 福祉運動会

福祉・教育

主な使いみち

●学童保育運営事業	5,599万円
●ファミリーサポートセンター事業	227万円
●中学校施設管理事業	4,613万円
●資料館管理運営事業	2,616万円
●公民館管理運営事業	1,282万円

まちづくり全体の方向性を考えて

金子正志 議員

- 町の人口は5年後には団塊の世代が後期高齢者になる。そして、次の人口の山は今40代半ば。20年後には全員がリタイヤする。どれだけ税収が減るか、もう想像するだけでも恐ろしい。
- 町長報酬20%減額を継続して、町長には先頭に立って財源確保に努める姿勢を示してほしい。まちづくり全体の流れを考えると、来年度の予算、もう少し考えることがあると思い、残念だが反対する。

賛成です 討論

子育て支援向上、高齢者が地域の担い手へ

角野由紀子 議員

- 子育て世代包括支援センター開設、産後ケア事業など妊娠から子育て期まで、切れ目のない支援が推進されました。ファミリーサポートセンター運営事業、緊急サポート事業のスタート、低年齢児保育受け皿への取り組み、学童保育の確保・充実など子育て世代への支援が質・量とも向上しました。
- 県補助金で、アクティブシニア社会参加支援を実施、全国どこでもコンビニでの証明書発行、健康マイレージ参加者増など評価します。

劣化診断の結果、今後どうするのか、見通しは？

- 問** 中学校の劣化診断の結果を受け、今後どうするのか。
- 答** 補助金を確保するため、個別施設計画を策定する。計画期間は5〜10年で、来年度からスタートしたい。
- 問** ファミリーサポートセンター会員数72人、活動状況は。
- 答** 利用・提供は、保育園や幼稚園、学童保育所開始前・終了後の送迎が多い。
- 問** 業務増大、長時間労働など教職員の健康管理は大丈夫か。
- 答** PCソフトでデータを共有し、有効活用して事務負担軽減を図った。勤務ICカードを導入し、働き方も確認できる。勤務時間外での在校も減った。
- 問** 公民館は、月曜が休館、老朽化も激しい。新たに公民館を考えるべき。
- 答** 3館とも昭和40年代建設、経年劣化している。公民館のニーズも変わってきている。小・中学校の適正配置を含めて、検討していきたい。

平成30年度の特別会計・水道事業会計決算は、本会議で補足説明後、決算特別委員会において質疑が行われました。質疑は多数ありましたが、ここではその一部を紹介します。

決算委員会が検証!

会計区分	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険	40億9,914万円	39億7,938万円	1億1,976万円
介護保険	28億7,777万円	26億9,321万円	1億8,456万円
後期高齢者医療	4億6,998万円	4億6,784万円	214万円
公共下水道事業	10億 301万円	9億7,053万円	3,248万円
農業集落排水事業	5,703万円	5,246万円	457万円

国民健康保険

賛成10 反対2で可決

平成30年度から都道府県化が開始され、埼玉県が国保財政の責任主体となりました。特定健診受診率向上を目指し、きめ細やかな受診勧奨を実施。健康ステーション事業として健康セミナーやウォーキング教室などを開始しました。

主な質疑

問 30年度の1人当たり

と1世帯当たりの国保税額。1人当たりの法定外繰入額は。

答 1人当たりの国保税は8万561円、1世帯当たりの国保税は12万7841円、1人当たりの法定外繰入は1万7418円となっている。

問 国保税を払えない滞納世帯と保険証の発行は。

答 滞納世帯は626世帯。短期保険証は64件、資格者証は2件発行している。

一般会計からの法定外繰入をすべきではないか。

答 国保加入以外の方から不公平感を感じるという意見も聞く。将来的には法定外繰入を徐々に解消していくのが国保運営の安定化につながると考える。

問 赤字（法定外繰入）をどのように解消していくのか。

答 平成31年度に改正を行ったので、令和3年度、令和5年度に改正を予定しているが、6年間での解消は難しい。



保健センターで特定検診

反対討論

山下秋夫議員

国保加入者は、高齢者や低所得者が多く、国保税が高すぎて払えない。一般会計からの繰入を増額し、高すぎる国保税を軽減するよう求めて反対する。

※法定外繰入とは 市町村が、国保税の値上げを抑えたり、独自の減免措置を実施するために行っている一般会計から国保会計への公費繰入のこと。

H30
決算

国保の 都道府県化を

第7期介護保険事業計画

(H30～R2) がスタート

介護保険

△賛成10、反対2で可決▽

高齢者の自立支援と重
度化防止のため、介護予
防教室の開催。地域で活
躍する介護予防リーダー
などの育成。高齢者の閉
じこもり防止を目的とし
た地域交流サロン活動
(新たに4か所開設)への
支援などを行いました。

主な質疑

問 介護サービスに係る
費用を抑制するためには、
今後、何に力を入れなけ
ればならないか。

答 介護予防についての
普及啓発や地域自立生活
支援事業、在宅医療介護
連携推進事業、生活支援
体制整備事業及び認知症
総合支援事業に力を入れ
ていきたい。



福祉運動会

反対討論

山下秋夫議員

介護保険の度重なる改
定は、負担増と給付制限
をもたらしてきた。利用
料の2割負担は必要な介
護さえ制限される事態と
なっている。

後期高齢者医療

△賛成10、反対2で可決▽

コンビニエンスストア
収納の導入、事案に応じ
た納付相談を行いました。

公共下水道

△賛成10、反対2で可決▽

宮代町下水道長寿命化
計画に基づき、宮代第1、
第2中継ポンプ場の電
気・機械設備更新工事を
実施しました。

農業集落排水

△全会一致▽

事業は維持管理や農業
集落排水事業債の償還と
なっています。

水道会計

△賛成10、反対2で可決▽

・収益的収支(税抜)

収益的収入 7億93
74万円、収益的支出
6億7614万円、純利
益 1億1760万円。

・資本的収支(税込)

資本的収入 2245
万円、資本的支出 4億
1987万円、不足額
3億9742万円。不足
額は内部留保資金などで
補てん。



条例・補正予算

オフィスサポーターの方々 会計年度任用職員へ

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例（議案第57号）

臨時・非常勤として任用されている職員を会計年度任用職員へ。令和2年4月1日施行

主な質疑

問 現在の臨時職員の人数は。

答 一般事務、保健師、発掘作業員、学童保育支援員など多岐にわたって、約265名。

宮代町税条例の一部を改正する条例（議案第60号）

■ふるさと納税（寄付金税額控除）の対象を総務大臣から指名を受けた地方団体に対する寄付金とした。①寄付金の募集を適正に実施②返礼品の返礼割合を3割

以下。③返礼品を地場産品とする。

■個人住民税の非課税措置が単身児童扶養者にも追加された。

■軽自動車の環境性能割の軽減、グリーン化特例の厳格化。

宮代町消防団条例の一部改正（議案第64号）

消防団の団員確保、地域防災力に必要な担い手の確保から、学生（18歳以上で町内に在住）も対象とする。

宮代町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部改正（議案第66号）

子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準」の改正。

令和元年度補正予算

問 こども子育て支援臨時交付金は3歳から5歳までの保育料だが、積算根拠を示してほしい。

答 私立保育園分の無償化町負担4分の1、801万円、対象人数135人を見込んでいる。公立保育園分の保育料10分の10交付され、128人分1427万円。幼稚園の500人分の利用料町負担分2168万円。（副食費の補足給付分72万円、預かり保育分100人分、認可外、一時保育分20人含む）合計で4469万円計上している。



補正予算の主なもの

事業名	金額	内容
子ども子育て支援臨時交付金	4,469万円	幼児教育・保育の無償化に係る町負担金増分に対する臨時交付金
参議院議員補欠選挙執行	1,251万円	10月27日補欠選挙執行経費
公共施設整備基金積立	1,903万円	前年度末積立分の積立
ふるさと納税管理	755万円	ふるさと納税に係る返礼品等の増
小学校施設管理	1,072万円	PCB含有蛍光灯処分費・給食配膳エレベーター修繕費
学童保育所運営	46万円	入所児童数の増に対応するための電算システムの導入

工事請負・人事

契約の締結

△全会一致で可決▽

工事名

宮代第1中継ポンプ場
更新工事（山崎地内）

請負金額

8800万円

請負業者

株式会社エス・アイ・
シー埼玉支店



△全会一致で可決▽

工事名

ふじ児童クラブ建設工
事（笠原小学校地内）

請負金額

1億2800万円

請負業者

金子建設株式会社



来年は新しい教室に

△全会一致で可決▽

工事名

小中学校特別教室
エアコン設置工事
小中学校（7校）

請負金額

6600万円

請負業者

株式会社中村工業所



家庭科室等にもエアコンが入ります

人事

△全会一致で同意▽

副町長に

しぶやたつひろ
渋谷龍弘氏

全会一致で同意しまし
た。任期は4年間です。



問 予定価格が1億559万円で、落札価格が約6割となっている。あまりに低く心配だが。

答 調査基準価格の対象になっている。12項目の調査をし、検討した結果、適切な工事ができると判断した。材料費を安価で仕入れることができることから、この応札額になっている。

大変厳しい状況が続く

9月定例議会は「決算議会」とも言われ、平成30年度一般会計決算などが審議されました。監査委員（識見者・新祖章氏と議会選出・伊草弘之氏）の決算審査意見の要旨は次のとおりです。（抜粋）

宮代町一般会計決算は依然として大変厳しい状況が続いている。

国民健康保険特別会計への繰出金は、平成27年度決算から減少しているものの介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計への繰出金は依然増加している。

今後においても特別会計への繰出金、子育て支援に係る支出増などに伴う財政圧迫が懸念される。

総括意見として、一層の歳入確保と經常経費の節減に努めるとともに、各種事務事業を効率的に執行し、最少の経費で



宮代町代表監査委員
新祖章氏

最大の効果を上げるように、なお一層努力されることを望み、次の点について要望する。

実行計画

「第4次宮代町総合計画後期実行計画」の3年度目として平成30年度に予定していた実行計画の行程は、おおむね順調に達成。

適正配置

持続可能な行財政運営を行うべく、小・

中学校の適正配置を初めとして公共施設再編第2期計画が進められている。町民との意見交換の機会をさらに設けて、時間を十分かけて結論を出すこと。

子育て支援

小規模保育施設が整備されたことにより、本年度当初に入り、本年度当初に入所待機児童の解消が見られた。妊娠期から子育て期まで切れ目のない子育て支援を行うため、保健センターと子育てひろばとの連携を一層強化し、子育て世代包括支援センターのさらなる充実を図る。

滞納対策

町税、国保税、保育所保育料、学校給食費等の滞納対策については、各課での情報共有が重要である。連携を密にして滞納対策を進めること。

デジタル化

防災行政無線のデジタル化整備により、情報提供手段の多様化が実現された。防災・防犯情報のメール配信サービスを初め、今後の有効活用について期待する。

農業参入

農業担い手塾塾生の自立支援や各種農業講座の開催、町外の大規模農家や農業法人等による町内の農業参入の促進などが行われた。

子供たちの安全を

小・中学校の全学年の普通教室へのエアコン設置に続いて、特別教室についても設置工事が進められている。今後も子供たちの安全を第一に考えた学校運営に取り組むこと。

駅周辺整備

東武動物公園駅西口周辺整備事業は、東武鉄道(株)と連携し、駅周辺のにぎわい創出を。東口周辺整備事業は、今後も県、杉戸町と連携・協力し、一体的なまちづくりを推進すること。



伝統ある須賀中学校を大切に



議案に対する各議員の賛否

○賛成 ●反対 - 議長は採決に加わらない

議案番号	議案	主要内容	議決結果	新政宮代			みやしろ		日本共産党		公明党		改進黨		無党派	議長
				田島	伊草	合川	唐沢	丸山	丸藤	山下	関	角野	小川	金子	野原	中野
50	平成30年度一般会計歳入歳出決算の認定	議案P2～5	認定	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	-
51	平成30年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	議案P6	認定	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	-
52	平成30年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	議案P7	認定	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	-
53	平成30年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	議案P7	認定	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	-
54	平成30年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	議案P7	認定	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	-
55	平成30年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	議案P7	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
56	平成30年度水道事業会計利益の処分及び決算の認定	議案P7	認定	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	-
57	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	議案P8	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
58	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
59	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
60	税条例の一部を改正する条例	議案P8	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
61	保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
62	印鑑条例の一部を改正する条例	婚姻前等の「旧氏」登録可	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
63	水道事業給水条例の一部を改正する条例	更新手数料の追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
64	消防団条例の一部を改正する条例	議案P8	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
65	家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	卒園後の連携施設の確保義務の緩和	可決	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	-
66	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	議案P8	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
67	技能労務職員の給与の種類及び基準に関する条例を廃止する条例	技能労務職の廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
68	工事請負契約の締結	議案P9 下水道中継ポンプ場機器更新	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
69	町道路線の廃止	隣接する土地所有者からの用途廃止申請	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
70	令和元年度一般会計補正予算(第3号)	議案P8	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
71	令和元年度一般会計補正予算(第4号)	議案P8	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
72	令和元年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	前年度繰越金の確定及び大件費の補正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
73	令和元年度介護保険特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
74	令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
75	令和元年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
76	令和元年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
77	令和元年度水道事業会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
78	工事請負契約の締結	議案P9 学童保育所の建設工事	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
79	工事請負契約の締結	議案P9 小中学校特別教室エアコン工事	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
80	副町長の選任につき同意を求めること	議案P9 副町長の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
意見書	高齢者の安全運転支援と移動手手段の確保を求める(第3号)	議案P25	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
意見書	国民健康保険税の均等割の廃止を求める(第4号)	議案P25 可否同数のため、議長裁決	否決	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
請願	町民の歯と口腔の健康づくり推進条例(仮称)の制定を求める(第1号)	議案P25	採決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

町政をたぐす

一般質問は9月3日、4日、5日の3日間おこなわれました。

12人の議員が登壇し、小中学校の適正配置や旧ふれ愛センターの活用、防災対策など43項目にわたり、たぐしました。

一般質問は、町長の考え方や町政の執行状況について説明を求めるものです。



本会議の様子

通告順(発言順)の記載でなく、抽選順としています

一般質問項目一覧

1. 関 弘秀 議員…………… P13

- ① 高齢者の方に安心の支援を
- ② 町内業者の健全育成のため入札制度を県・国と同様に拡大
- ③ 「防災情報」の事前の周知
- ④ 幹線道路の整備推進

2. 唐沢 捷一 議員…………… P14

- ① 住民と考える10年後
- ② 自治会活動
- ③ 東武動物公園駅西口の整備

3. 山下 秋夫 議員…………… P15

- ① 小中学校統廃合
- ② 県道春日部・久喜線の須賀上交差点改良を
- ③ 和戸駅の屋根の延長を
- ④ 最低賃金

4. 小河原 正 議員…………… P16

- ① 宮代町の平均寿命
- ② AI(人工知能)の活用
- ③ 旧ふれ愛センター活用
- ④ 高齢者の免許返納
- ⑤ 東武動物公園駅西口開発

5. 伊草 弘之 議員…………… P17

- ① 高齢者が安心して住み続けられる街づくりは進んでいるか
- ② 想定外と思われるような災害が発生している中、当町の防災対策機能は大丈夫か

6. 丸藤 栄一 議員…………… P18

- ① 消防中島出張所の存続を
- ② 旧ふれ愛センターの再開を
- ③ 保育料無償化に伴う副食費等に助成を

7. 丸山 妙子 議員…………… P19

- ① 進修館及び庁舎の駐車場対策に本腰を
- ② 平成28年12月議会請願を受けた宮代町立小中学校の適正配置の再検討についての考えは
- ③ 町内の小規模保育園

8. 田島 正徳 議員…………… P20

- ① 学童保育
- ② 旧ふれ愛センターの活用
- ③ 受動喫煙防止

9. 金子 正志 議員…………… P21

- ① 川口信用金庫前の交差点
- ② 杉戸町との合同イベントの開催を
- ③ 小中学校適正配置は広域で
- ④ 小中学校の適正配置を急ぐべき
- ⑤ 町長の立場と、町民の立場
- ⑥ 満額の町長報酬の削減を

10. 角野 由紀子 議員…………… P22

- ① 未就学児及び高齢運転者の交通安全緊急対策
- ② 災害廃棄物処理計画
- ③ 和戸駅西口開発(道路整備)

11. 合川 泰治 議員…………… P23

- ① 喫煙場所の確保を
- ② 宮代町消防団運営費の支出基準は
- ③ 循環バスの停留所がない地域への代替措置を
- ④ 10年後の自治会を見据えて

12. 野原 洋子 議員…………… P24

- ① 宮代町内の救急搬送
- ② 宮代町内に休日診療当番医制度の考えは
- ③ 「宮代町公共施設・インフラの更新のあり方の研究報告書」のその後は

⑤ 白抜きの数字は掲載された質問。それ以外は紙面の都合により掲載できなかったものです。



せき ひろひで 議員
関 弘秀

高齢者の方に安心の支援を

安心して生活できるよう支援していく

問 地域包括支援センターの場所がわかりやすい案内表示板の設置及び入りやすく相談しやすい環境整備を。

答 健康介護課長

①今年度の4月から「社会福祉法人真善会」による運営に体制を移行し、本田4丁目に事務所を構えている。敷地内の看板を道路から見やすい方向に角度を改

め、また、相談しやすい環境整備についても検討を進める。センター職員が訪問を行うことを広報などで周知していく。

問 緊急時通報システムが平成2年10月より開始しているが、対象者の拡大は。

答 健康介護課長

75歳以上の後期高

対象者
1. おおむね65歳以上の一人暮らしの方(発作等を要する疾病をお持ちの虚弱な方) 2. 身体障害者手帳(1～3級)をお持ちの一人暮らしの方
利用機器
緊急通報端末機・ペンダント型無線発信機 (下の写真にあるAまたはBの機器のどちらかを設置します。見た目は違いますが、性能は同じです。)
※それぞれの写真の左が端末機、右が無線発信機です

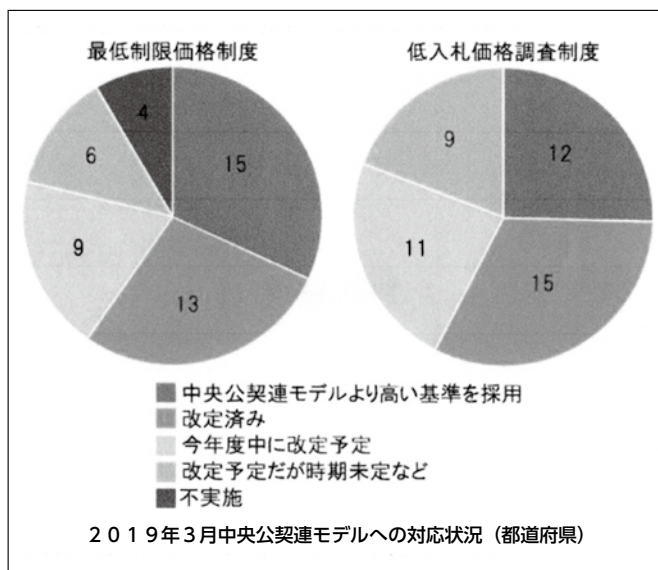
安心して暮らすために

高齢者は年々増加し、2025年には高齢者のおよそ62%になると予想されていることから、対象者の検討と緊急時通報システムの利用が必要か判断するためのアセスメントの明確化に努める。

問 町内業者の健全育成のため入札制度を県・国と同様に拡大を。

答 企画財政課長

当町の落札状況は、低入札価格調査案件はあるものの、失格となった案件や契約不履行となった案件はなく適切に機能している。現段階での最低制限価格制度への移行及び導入は必要ないと判断しているが、ダンピング受注の防止を図る観点から基準価格を適宜見直し対応していく。



最低制限価格制度の導入を

町民が望む西口開発は

待望の西口開発が動き始める



からさわ しょういち
唐沢 捷一 議員



西口開発が動き始める

問 多くの町民が西口整備を望む中、現況を含め進捗状況を問う。

答 まちづくり建設課長 町の新しい顔づくりとして東武鉄道(株)と共に整備を進めてきた事業である。西口土地利用は春日部方面エリアの病院

誘致は採択に至らなかったが、今後、新たな方策を考えている。また、久喜方面エリアは、(株)良品計画の出店がおおむね決定した旨、9月上旬に東武鉄道(株)より連絡があり、待望の西口開発が動き始め、期待をしている。

住民と考える 10年後

問 町の10年後を町民と話し合った、内容と今後は。

答 企画財政課長

50人の町民の方に参加をいただき、2日間で約10時間にあたって活発な意見やアイデアを出していただいた。今後は、町職員と一緒にアイデアプランを作りながら「第5次総合計画」策定に活かしていきたい。

自治会活動の 現状は

問 自治会活動は、町からの要請や依頼事項が増加傾向にある。負担軽減と今後の自治会活動は。

答 町民生活課長

各課と軽減が図れるよう内部調整を進めている。また、自治会活動は、地区連絡会を年3回開催し、区長、自治会長が情報の共有化を図り、活動の充実に向けて話し合っている。



広がる自治会活動

学校統廃合の審議がされているが

19名による1回目の審議会が行われた



あきお 山下 議員



地域に根ざした小中学校

問 学校統廃合が提起され審議会が発足したが、審議会での討議内容と人選、通学時の安全対策は。地域の核としての役割と地域と協力し特徴ある学校づくりを求めるが。

答 教育推進課長

経緯説明と討論の中でなぜ中学校が先行なのかとの意見などもあった。選定は、各団体の推薦で決めている。安全面は、欠かせない視点である。現状は各学校とも文科省指導の学級数以下の状況は発生していないが、審議会で検証作業を進めていく。

問 県道須賀上交差点の改良を

問 町と県で合同での交差点改良を進めては。また、都市計画道路として将来計画はあるか。

答 まちづくり建設課

長 万願寺橋通り線は、現在、重点整備している道路などのめどがついた段階で、他の道路の整備を含めて、計画的に整備を進める。

問 和戸駅の屋根の延長を

問 夏の暑い日や雨、雪の日の乗降など、町民の安全を考え和戸駅の屋根の延長を。

答 企画財政課長

和戸駅西口開設と併せ、過去何度とな

く陳情活動を行ってきた。町単独でも陳情活動を展開する。

最低賃金について

問 最低賃金が28円引き上げ予定である。宮代町の考えは。

答 総務課長

最低賃金を上回っており、見直しは考えていないが制度改定で令和2年4月より交通費や期末手当を支給する予定である。



須賀上交差点は夕方から渋滞に

東武動物公園駅西口の開発の進展は (株)良品計画の出店がおおむね決定した



おがわら ただし
小河原 正 議員



機会あるたびの主張が進展させる

問 東武動物公園駅西口開発の病院計画と商業施設計画の進展は。

答 まちづくり建設課長 春日部方面のエリアは、第7次埼玉県地域保健医療計画に東武鉄道(株)が打診した医療法人が病院

整備計画を提出したが、採択には至らなかった。新たな方策を検討しているとのこと。

商業業務施設の久喜方面のエリアは、(株)良品計画の出店がおおむね決定したことから、今後の店舗展開に向けて宮代町内において各種リサーチを進めていく予定。

旧ふれ愛センターの活用は

問 前回は、3団体からの提案は実施が困難のため、その後はスピード感をもって福祉的施設を検討していくという事であったが、その後の進展は。

答 企画財政課長

先の6月定例会以降、福祉的活用を前提として、これまで社会福祉協議会並び

にひまわり作業所と随時話し合いを持ち、最優先事項として対応している。

答 町長

町としては、福祉作業所も入り、社協の本体も入り、そこに町民がお茶を飲んだりできる場の提供ができないか考えている。



来年夏には移転できるよう調整

AI(人工知能)の活用

答 企画財政課長

今後、先んじて実施している自治体の運用実績や費用対効果などを踏まえた上で判断していく。



いぐさ ひろゆき
伊草 弘之 議員

高齢者が地域に住み続けられる街づくりは

地域包括ケアシステムの構築が求められる

問 ①高齢者が地域に安心して住み続けられるために、どのような取り組みをしていますか。

答 ②高齢者の移動手段を確保するために、当町ではどのように取り組んでいるか。

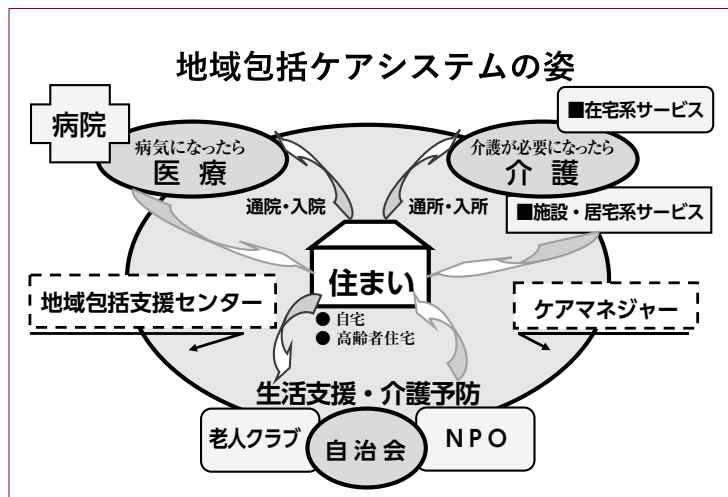
健康介護課長

① 高齢者が住みながら地域で人生の最後まで住み続けることができるよう、住まい・医療・介護・

生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築・深化に向けて各種事業を推進していく。

企画財政課長

② 高齢者の移動手段としては町内循環バス・福祉有償運送・福祉タクシーなどを用意している。ひとつの方法だけでは



高齢者が地域に住み続けられる街づくり

は不十分であると考えており、課題を整理し第5次総合計画策定の中で検討していく。

町民生活課長

当町の防災対策機能

問 ①防災対策では、「公助」が前提である。当町では発災時、その能力は発揮されるか。

②防災拠点としての役場庁舎の防災対策は大丈夫か。

① 「公助」である町の防災力は、発災時その能力を十分発揮できるように様々な角度から準備し、被災を軽減できるように努力を継続していく。

② 庁舎は耐震性を満たし、非常用発電機も備えている。他の機能も対策しているが、想定外に備える訓練の徹底で、人的災害を最小限にとどめる。



防災拠点の機能が求められる役場庁舎

救急搬送に時間かかるのが不安

きちんと説明したい



がんだう えいいち
丸藤 栄一 議員



消防中島出張所の存続を

問 救急搬送では「中島出張所が廃止されると、たとえ杉戸町から来るにしても時間がかかるので不安」という声にどのように応えていくのか。

答 町長
確かに、今まで目

の前にあった消防車や救急車がなくなってしまうということが一番不安だと思う。それらの時間的なことや人数的なことをきちんと説明したい。

答 町長

タイムリミットは設けていないが、秋口には説明会できると考えている。

旧ふれ愛センターの再開を

問 「旧ふれ愛センター」をどのように活用するのか。

答 企画財政課長

ひまわり作業所の移転先となり得るのかについて、社会福祉協議会の移転の可能性も含めて関係団体と検討を行っている。

問 高齢者の憩いの場

をどのように考えているのか。

答 町長

高齢者の憩いの場があれば「ひまわりの家」との交流の場も広がってくる。また、障がいのある方の放課後デイサービスの拠点になればよいと考えており、調整



「旧ふれ愛センター」は、高齢者の憩いの場に

をしていきたい。

保育所の副食費に助成を

問 保育料無償化に伴い副食費を無償化する考えは。

答 子育て支援課長

国の考えを踏まえ、副食費は保護者負担とする。

進修館及び庁舎の駐車場対策に本腰を

利用者以外の駐車対策と地権者との交渉へ

問 度重なる駐車場不足への町民の声に、増設の対応をしないのはいかなる理由か。

①利用者以外の対策と今後の取り組みは。

②対応を先延ばし続けている現状は、町民の立場に立った住民サービスと言えるのか。

答 町民生活課長

①現在、駐車場管理は午前10時から毎日2時間ごとに台数

調査。今後、入口付近に看板を設置し知らせる。②進修館の駐車場の敷地は借地である。今年度の更新に際し、土地の買収の申し出をしたが買収にはいたらず、引き続き交渉を続けていきたい。健常者

や障がい者にも利用しやすいといっても、必要なものは撤去せざるを得ない。

適正配置の再検討の考え

問 宮代町の子供の教育に何が大事か。



町民の立場に立った住民サービスを



地域の小中学校は住民に元気を与える源

答 町長

人口減を見据えて学校のあり方、子供たちへの教育をきちんと考えていかなくはならない。

答 教育長

基礎学力を着実に身に付け、他者との協働を通して切磋琢磨し、学び続けることができる資質や能力の育成を大切にしたい。

町内の小規模保育園

問 施設の運営についてどこまで把握しているか。

答 子育て支援課長

認可の権限は市町村にあり、指導監査についても町で実施運営などの状況の把握に努め、保育の質の向上に努めていきたい。



まるやま たえこ
丸山 妙子 議員

指定管理に移行する学童保育の進捗状況は 12月議会に承認の議案を提出する



たじま まさのり
田島 正徳 議員



笠原小学校学童保育所の建設予定地

問 ①学童保育は、令和2年度から指定管理者にスムーズに移行できるのか。
②公設公営から指定管理者に移行するメリットは。
③指定管理料1億2千万円の積算と、いわゆる「小1の壁」に対する配慮は。

答 子育て支援課長

①指定管理者募集は9月2日締切りで応募は3者である。10月に選定委員会、11月に結果公表、12月に議会承認の予定。来月1月から3月を並行運営期間とする。
②民間事業者による運営実績とノウハウにおいて職員体制の強化・創意工夫の行事などの実施・アンケートなどによる業務改善・開所時間の利用者ニーズ対応の提案がある。
③今後、入所児童が増加傾向にあり、*10単位を想定している。引き続き利用ニーズに対応した学童保育運営に努めていく。3者とも開所時間拡大の提案をしている。

*10単位とは 10部屋のことで



早期利用が待たれる旧ふれ愛センター

旧ふれ愛センターの活用

問 6月定例会において、町長答弁で「社会福祉施設として活用していきたい」とあった。手狭になったひまわり作業所の移転と大広間などを高齢者が利用できる活用は。

答 福祉課長

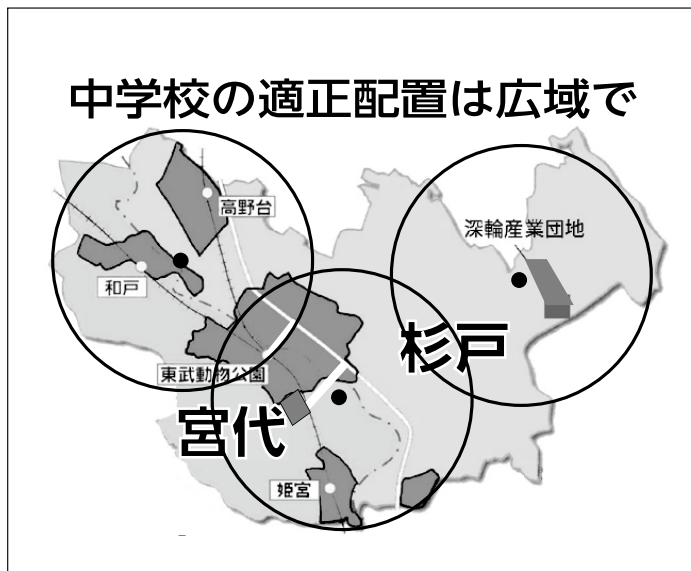
福祉作業所は、手狭で老朽化も心配される。新たな建設や拡張移転が課題である。町も支援を行いながら、移転活用が可能か、社会福祉協議会において検討中。



かねこ ただし
金子 正志 議員

小中学校適正配置は広域で

必要性があるという認識には至っていない



宮代・杉戸に半径2.5km圏内の円を描くと

問 ①小中学校の適正配置は宮代町単独行政ではなく、市街化区域が隣接する杉戸町と広域で検討することが望ましいのではないか。

答 教育推進課長

現時点では、杉戸町との広域での検討の必要性があるという認識には至っていない。

問 町民体育祭を杉戸町と合同開催し、交流を深めては。

答 教育推進課長

両町において必要性や意義など機運が高まるような時期がくれば、その段階で検討したい。

満額の町長報酬の削減を

問 歴代の榊原町長、

庄司町長、榎本町長と、町長報酬20%減額を引き継ぎ行財政改革に取り組んで

町民体育祭参加チームの推移

年度	チーム	地区	参加人数
昭和61年度	39チーム	データなし	データなし
昭和63年度	39チーム	データなし	データなし
平成元年度	37チーム	データなし	データなし
平成15年度	32チーム	62地区	データなし
平成17年度	28チーム	54地区	データなし
平成20年度	25チーム	48地区	データなし
平成25年度	21チーム	42地区	1,522人
平成30年度	16チーム	40地区	920人

杉戸町と合同開催すれば盛り上げることができる

た。しかし新井町長は満額とした。議員と元議員に相談したと答弁したが、現職議員は何人か。その氏名を。

答 町長 個人に関わることであり差し控える。元議員は3人に相談した。

合併アンケートの尊重を

問 町の合併アンケートでは杉戸町との合併を望んでいると結

果が出ている。自分の立場と、町民アンケートの結果の、どちらを優先するのがリーダーの職責と考えるか。

答 町長 町が小さくても輝けるよう、町政運営に誠心誠意取り組んでいる。

問 「合併を望まない」は何%であったか。

答 企画財政課長

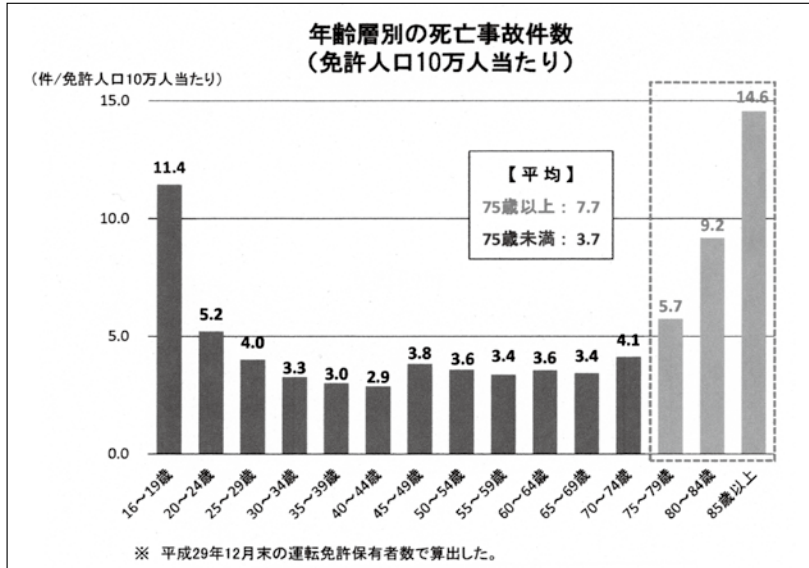
「合併を望まない」28・9%、「合併を望む」58・7%。

未就学児、高齢者の交通安全緊急対策は

注意喚起や散歩経路の見直しなど



かどの ゆきこ
角野 由紀子 議員



高齢者の安全を支える対策のさらなる推進を

問 今年の相次ぐ痛ましい交通事故に政府は当面の取り組みをまとめているが、当町の対応は。

答 町民生活課長
警察など関係機関から施設外での活動の際の移動経路の安全性の確保や職員体

問 今年の相次ぐ痛ましい交通事故に政府は当面の取り組みをまとめているが、当町の対応は。

答 町民生活課長
警察など関係機関から施設外での活動の際の移動経路の安全性の確保や職員体

問 今年度の再確認を要求する通知があった。町は幼稚園や保育施設に周知し、注意喚起を行うとともに、公立保育園の散歩経路について再点検及び見直しを図った。

答 高齢者の移動をサポートする手段については多様化している。一つの方法だけでは不十分と考えている。高齢社会を見据えた交通施策を第5次総合計画に位置付けていく。

災害廃棄物処理計画
問 策定にどう取り組むか。
答 町民生活課長
コンサルタント会社に委託し、国、県の策定指針に基づき進めている。

問 自治体間の連携体制は。
答 埼玉県清掃行政研

和戸駅西口開発(道路対策)
問 和戸駅西口に少しずつ家が建ち始めている。西口開設にかかわらず、道路整備をどう進めていくか。

答 究協議会で協定を結び、相互支援を行うものとしている。



和戸駅(西側)にむかう道路は未舗装

問 まちづくり建設課長 何らかの対策が必要と認識している。計画の位置づけがない現時点では、具体的な内容は決定していない。

循環バスの停留所がない地域へ代替措置を

第5次総合計画の施策への位置付けを検討

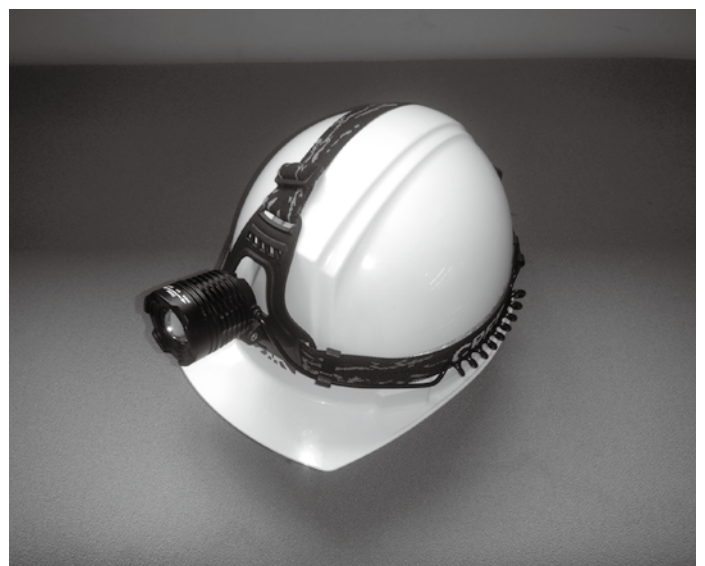


早期の対応を

に対する支援としては、NPO法人による福祉有償運送などのサービスがある。

しかし、ひと口に高齢者といっても、居住場所も健康状態も様々であり、年齢の幅もある。すべての方を網の目のようにカバーするためには、一つの方法だけでは不十分だと考えている。

今後10年はさらに高齢化が進み、地域ごとのニーズも変化してくると思う。高齢社会を見据えた公共交通施策を第5次総合計画の中に位置づけていきたいと考えている。



備えあれば憂いなし

問 消防団にヘッドライトの装備を。

答 町民生活課長

夜間における活動において明かりは必要不可欠であり、両手が空くようにヘッドライトが有効であると考える。消防団と調整して、整備していきたい。

問 第5次総合計画の中で、10年後を見据えた自治会のあり方

を検討する必要があるのではないか。

答 町民生活課長

自治会の果たす役割は大きいので、自治会の地域割や合併など、検討していきたい。10年後を見据えた自治会のあり方を第5次総合計画の中に位置づけしていくことは必要と考える。



あいかわ たいじ
合川 泰治 議員

問 循環バスの停留所がない地域への対応は。

答 企画財政課長

要支援、要介護などの認定を受けた方

中島出張所廃止のメリットとデメリットは 充実強化し、迅速な出動に努める



のほら ようこ
野原 洋子 議員



地域の消防救急体制を担っている

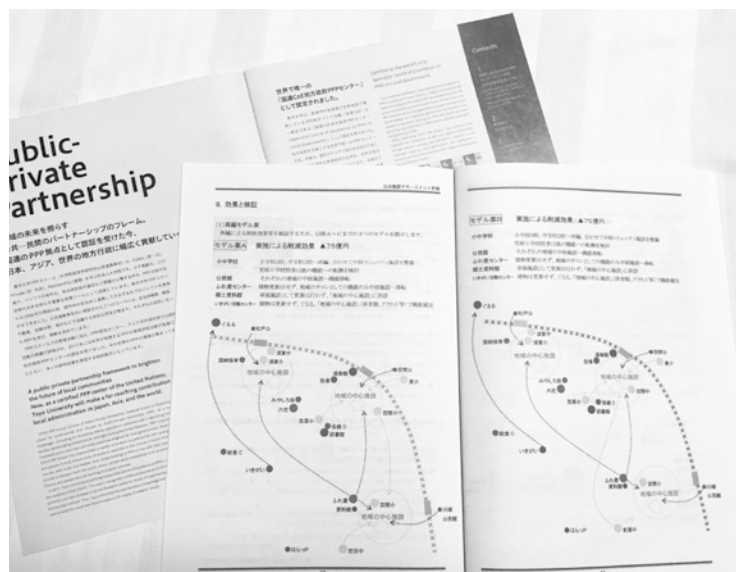
問 ①中島出張所廃止のメリットとデメリットは。②ドクターヘリの活用は進むか。

答 町民生活課長

①署所の合理化で庁舎維持管理費用の削減や、職員や車両の集約再配置で消防活動が充実強化される。中島出張所の職員と救急車は杉戸署に配置換ええられる。それによる緊急車両の到着に遅れが生じるといふ影響は少ないが、災害現場直近方式で迅速な出動体制の確保に努める。

②埼玉県ドクター

ヘリは県内の最も遠い地域でも概ね20分以内に到着でき、生命の危険が切迫している重度傷病者に早期に医師が現場に駆けつけ、救命医療が開始される。消防の広域化の影響を受けるものではなく、積



PPPによる公共施設マネジメント計画

問 岩手県紫波町がP

極的に活用していく。PP研究センターとオガールプロジェクト（公民連携の地方創生モデル）を成功させている。当町も全国に先駆けて報告書を作成させているが、その後の進捗は。

答 企画財政課長

平成23年に専門家と公募市民で公共施

設マネジメント計画を策定。25年度いきがい活動センターを昌平学園に機能転用を図り、平成26年度ふれ愛センターの機能を移転し、廃止した。ぐるる宮代に民間機関であるミズノが入り活性化し、現在は小中学校適正配置を進めているところである。

請願・意見書

請願は宮代町歯科医師会会長から提出され、全会一致で採択された。可決された意見書は政府に提出された。

請願

宮代町民の歯と口腔の健康づくり推進条例（仮称）の制定を求める

△全会一致で採択▽

賛成討論

小河原正議員

町民の歯と口腔の健康づくりについて、町と町民が一体となって取り組む施策が必要であり、その施策を計画的かつ効果的に行うことによって、町民の乳幼児から小中高校生、成人期、高齢期の歯と口腔の維持向上の保持増進に寄与することが目的である。

歯科検診を長期実施することで未来が変わると言われている。具体的には歯科検診で歯は残る。歯科検診で歯科医療費が下がる。歯科検診で健康寿命が延びると言われている。

意見書

高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める

△全会一致で可決▽

75歳以上の高齢運転者の死亡事故の割合は高まっており、単純ミスによる事故も目立つ。政府においては、地方自治体や民間事業者とも連携しながら、総合的な事故防止策を進めるため、次の事項について早急に取り組むことを強く求める。

1、自動ブレーキや、ペダル踏み間違え時の急加速を防ぐ機能装置の普及を一層加



速させるとともに、高齢者を対象とした購入支援策を検討すること。

2、自動ブレーキなどを備えた安全運転サポート車、サポカーSに限定した免許の創設や、走行できる場所や時間帯などを制限した条件つき運転免許の導入を検討すること。

3、免許を自主返納した高齢者にコミュニティバスやデマンド、予約型乗り合いタクシートの導入など地域公共交通ネットワークのさらなる充実を図ること。免許の自主返納時におけるタクシーや公共交通機関の割引制度などを支援すること。

意見書

国民健康保険税の均等割の廃止を求める

△賛成6反対6で議長裁決により否決▽

国民健康保険の都道府県化から2年目を迎える。2019年度以降、国民健康保険税の値上げが予想されている。

現在の国保税が加入者の負担能力をはるかに超えたものとなり、構造的な問題を抱えている。中でも均等割は保険税を高騰させる大きな要因となっている。

国保財政に対する公費投入を増やし、国保税に係る均等割を廃止し、国保税の負担を大幅に軽減するよう強く要望する。



質疑

問 全国知事会ではどのような均等割の見直しを要求しているのか。

答 全国知事会などの地方団体から、「国保の構造問題を解決することなしに都道府県単位化を進めることは認められない」という意見が強く主張されるようになったと聞いています。

問 均等割については子供にかかる保険料、均等割の軽減措置を考えてくれと言っている。均等割の廃止では保険料は総額で入ってこない。

答 国保財政に対する公費を1兆円増やすことができれば、それは可能だと思



町民の声



根岸 重之さん
(和戸)

宮代町インターネット放送局の特派員になって、ほぼ1年経ちました。インターネット放送局の役割は、町内各イベントの町民および近隣自治体、さらに国内、世界に向けての広報になります。その手段としてユーチューブで一般公開しています。特派員になってまず感じたことは、今まで宮代町について何も知らなかったという事です。行政と企業・町民が一体となって、いろいろな行事を企画実施しています。宮代町に暮らして35年間、全く知りませんでした。知らうとしなかつたかも知れません。

現在、自由に時間を使える身になってそれらに気づき、イベントに参加し、町内を散策してみました。私のような人間が他にもいると思いますので多くの町民に知ってもらい、町民として何らかの形で参加できるように町内情報を分かりやすく発信していきたいと思えます。

宮代町インターネット放送局は宮代町のホームページにリンクしていますので是非ご覧になってください。

第22回 町民と議員との議会懇談会



11月9日土

開催日

午前10時05分～11時55分

場所 町立図書館(ホール・研修室)

テーマ 4つのグループに分け、下記のテーマで意見交換を行います。

- ① 女性議員と若い議員を増やすには
 - ② 宮代のよいところと改善が必要なところ
 - ③ 議員または議会に求めること
- ※事前申し込みは不要

議会を傍聴しませんか

12月議会の予定は

11月28日(木) 午前10時開会
進修館 議場

一般質問は12月4日(水) 5日(木) 6日(金)
一般質問の録画配信が始まりました!

表紙の写真紹介

長年にわたり、黄金色の稲が実ったのどかな景色。台風前の秋空の下、最後の稲刈りが行われた。いよいよ、ここに期待される和戸横町区画整理事業の工事が始まる。



編集後記

9月議会から、一般質問の録画配信が始まりました。町のホームページから、町議会をクリックし、議会中継を出していただければ、各議員の質問の様子を見ることが出来ます(表紙のQRコードからは直接入れません)。

今更ながらですが、宮代町議会の議場は常設ではなく、進修館の小ホールを兼ねています。定例議会ごとに、議場を設営しての撮影です。他自治体の議場の比ではありません。画面や背景も気になるかもしれませんがご了承ください。(角野)

広報委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 丸藤 栄一 |
| 副委員長 | 角野由紀子 |
| 委員 | 九山 妙子 |
| 委員 | 田島 正徳 |
| 委員 | 金子 正志 |

